

平成26年12月22日（月）発行

文責：川野邊勝也

学びのススメ

冬休みの学習について



79日間の2学期が終わり、いよいよ明日から冬休みです。クリスマス、大晦日、お正月と季節行事盛りだくさんの冬休みですが、3年生にとっては受験前の勝負の時期。また、1・2年生にとっても、2学期までの学習で足りないところを補う貴重な時期ですので、メリハリをつけて、しっかりと学習に取り組んでほしいと思います。

以下、3年生、1・2年生に分けて、学習のポイントについて触れていきます。

頑張れ受験生！（3年生の場合）

- 年が明けると、私立の推薦入試を皮切りに、いよいよ入試本番を迎えます。入試に「絶対」という言葉はありません。自信がつくまで入念に準備をしていく必要があります。
- たとえば、学石A日程、県立Ⅰ期選抜受験者には、作文・小論文が課されます。現在特訓中ですが、どんな課題が出されたとしても、自信を持って書き進められるだけの経験値を高める必要があります。この冬休みに、添削指導を繰り返し受けることで、書くスキルを向上させていきましょう。
- 学石B日程は国・数・英の3教科の学力試験があります。学石は1教科でも極端に低い点数を取ってしまうと合否に影響が出るようです。（推薦だからといって気は抜けません）自分の苦手教科を意識し、過去問などに取り組みながら、分かるまでやる！この姿勢を大切にしてください。（先生や友達に聞いて理解！）
- その他、当座の受験科目が面接のみという人もいます。その人たちは、「面接のスペシャリスト」と言われるぐらいに受け答えのレベルを上げたいものです。これも回数をこなすことがスペシャリストへの近道となります。



頑張れ1・2年生！（1・2年生の場合）

- 学期が進む度、学習内容が難しくなっていることを実感していませんか？この2学期までの学習内容で、理解が不十分な点は、この冬休みに何とかしておかないと、3学期以降が大変です。（授業についていけなくなることも…）
- どちらの学年とも第2回実力テストに向けた課題や宿題が出されていると思いますが、プラスαで苦手克服に努めましょう。
- これまでのテスト結果等をもとに、自分の苦手分野や領域を洗い出すことから始めます。（ex：国語＝説明的文章、数学＝正負の数、社会＝アジア州など）洗い出したら、それが1つでも2つでも克服できるように動き出すのです。（問題に挑戦→採点→分からない問題を明らかに→翌日、先生や友達に質問→類似問題に挑戦）

